

聖霊降臨日

会衆は着席する。

次のいずれか一つを用いる。

全能の神よ、この日、あなたは約束された聖霊の降臨によって、すべての民族、国民に永遠の命の道を開かれました。どうか福音の宣教によって、この聖霊がますます世界に注がれ、地の果てにまで広がりますように。聖霊の一致のうちに父と一体であり、世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

神よ、あなたはこの時に聖霊を降し、そのみ光によってみ民の心を照らしてくださいました。どうかわたしたちも同じ聖霊によって正しく万事をわきまえ、常にそのみ助けを喜ぶことができますように。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

使徒言行録

朗読者 「使徒言行録は第二章一節から」

1 五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、2 突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。3 そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。4 すると、一同は聖霊に満たされ、「霊」が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

5 さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、6 この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あつけにとられてしまった。7 人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。8 どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。9 わたしたちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、10 フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接するリビア地方などに住む者もいる。また、ローマから来て滞在中の者、11 ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者

もおり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」

朗読者 「使徒言行録を終わります。」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第一〇四編 三〇〜三五節

- 30 あなたが息を送られると、すべては生き＝ 地の面は新たに
なる
31 主の栄光はとこしえに＝ 主がそのみ業を喜ばれるよ
うに
32 神が注がれると、地は揺れ動き＝ 山々に触れられると
煙を吐く
33 わたしは生涯、主に向かって歌い＝ 命ある限り神を
たたえよう
34 わたしの思いが神に喜ばれるように＝ わたしは主の
うちにあって喜ぶ
35 罪人が地上から姿を消し、悪人がいなくなるように＝

主をたたえよ、わたしの魂よ、ハレルヤ

使徒書

朗読者 「使徒書はコリントの信徒への手紙Ⅰ 第十二章四

節から」

4 賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です。5 務めにはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ主です。6 働きにはいろいろありますが、すべての場合にすべてのことをなさるのは同じ神です。7 一人一人に“霊”の働きが現れるのは、全体の益となるためです。8 ある人には“霊”によって知恵の言葉、ある人には同じ“霊”によって知識の言葉が与えられ、9 ある人にはその同じ“霊”によって信仰、ある人にはこの唯一の“霊”によつて病気をいやす力、10 ある人には奇跡を行う力、ある人には預言する力、ある人には霊を見分ける力、ある人には種々の異言を語る力、ある人には異言を解釈する力が与えられています。11 これらすべてのことは、同じ唯一の“霊”の働きであつて、“霊”は望むままに、それを一人一人に分け与えてくださるのです。

12 体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。13 つまり、一つの霊によつて、わたしたち

は、ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、奴隷であろうと自由な身分の者であろうと、皆一つの体となるために洗礼を受け、皆一つの霊をのませてもらったのです。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第二十章十九節以下に記された主イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。20 そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたし

をお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」22 そう言うことから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。23 だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」